令和８年度第２回佐久医療圏地域医療構想調整会議	資料３
令和８年10月21日	

令和 8 年 10 月 21 日

関係各位

佐久総合病院精神病床の変更（削減）について

長野県厚生農業協同組合連合会
佐久総合病院　統括院長　渡辺　仁

日ごろは当院の運営に際しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、佐久総合病院（本院）では、令和 6 年 4 月から入院診療可能な精神科医師確保が困難なことから、精神科病棟を休床しております。令和 7 年 9 月には病床数適正化支援事業を活用し、精神病床を 70 床から 36 床へ削減いたしました。

精神科入院診療の再開に向けて医師確保に取り組んでおりますが、依然として厳しい状況が続いております。また、精神科病棟の老朽化への対応も必要となっております。

このため病床数適正化支援事業を活用し、精神病床を 36 床から 30 床へ 6 床削減する計画とし、県へ申請を行いました。

本事業により精神科病棟の必要な環境整備を進め、将来的な精神科入院機能の再開を見据えた医療提供体制の維持を図るとともに、引き続き常勤精神科医師の確保に努めてまいります。また、精神科外来、精神科デイケア、訪問看護、認知症疾患医療センター機能については、今後も継続して充実を図ってまいります。

（参考）

佐久総合病院（本院）の病床数（許可病床数）

	一般	療養	精神	合計
令和７年９月３０日～	197 床	42 床	36 床	275 床
令和９年３月３１日～	197 床	42 床	30 床	269 床

※一般の中には人間ドック 23 床、回復期リハビリテーション病棟 48 床を含む

※療養の中には地域包括ケア病棟 42 床含む